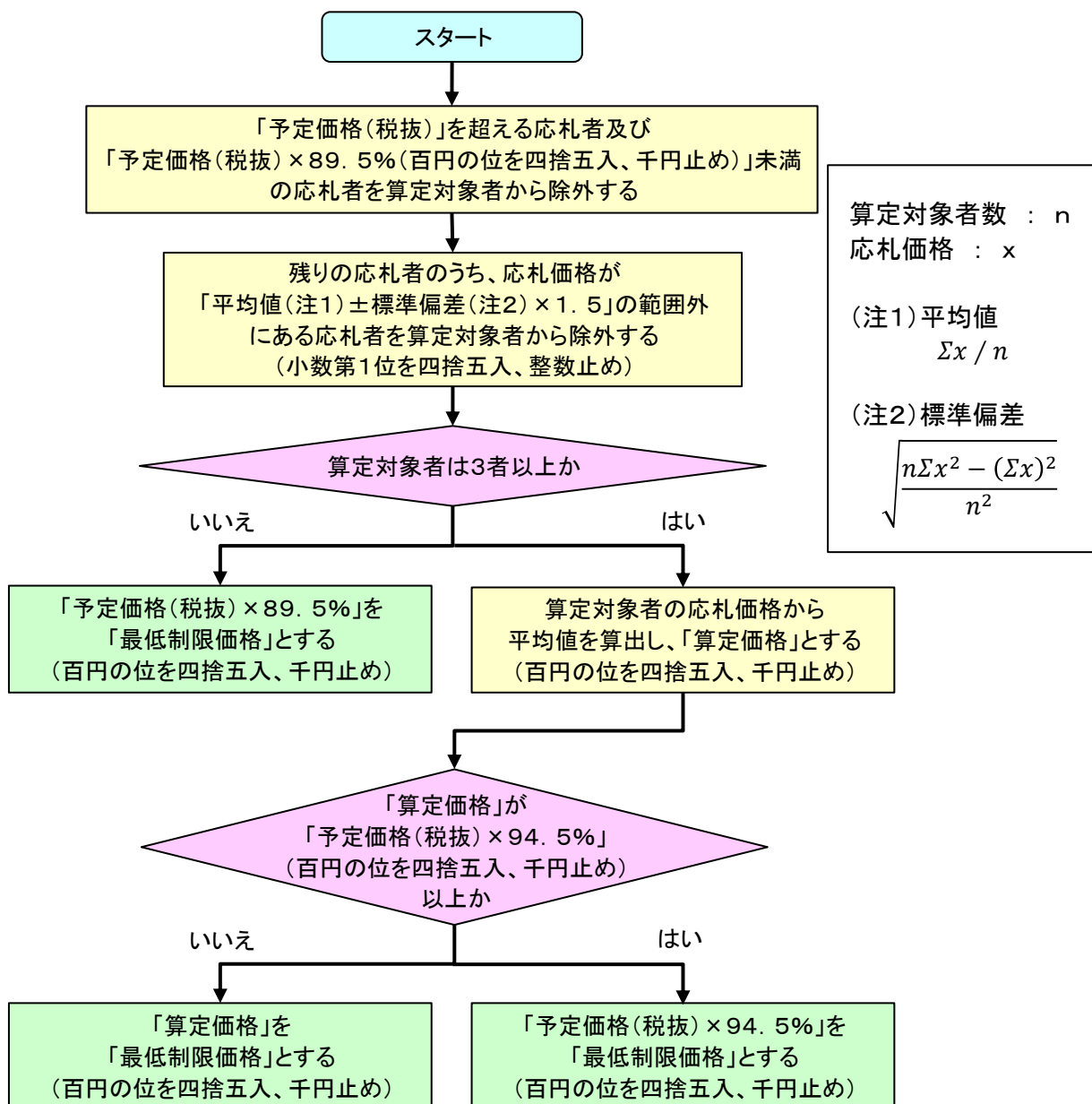


上田市建設工事入札における最低制限価格の算定フロー

適用対象 : 130万円超の建設工事（一般競争入札又は指名競争入札）
 適用開始 : 令和5年4月1日以降の入札公告又は指名通知から適用

手順	内容
1	予定価格（税抜）を超える応札者及び予定価格（税抜）の89.5%未満の応札者を算定対象者から除外する。
2	手順1で除外した残りの応札者の平均値±（標準偏差×1.5）の範囲外にある応札者を算定対象者から除外する。
3	最低制限価格を算定する。 (1) 算定対象者が3者未満の場合 予定価格（税抜）の89.5% (2) 算定対象者が3者以上の場合 算定対象者の平均価格 ただし、予定価格（税抜）の94.5%を上限とする。



最低制限価格の算定例

予定価格（税抜） 10,000,000 円
 予定価格（税抜）×89.5% 8,950,000 円（百円の位を四捨五入、千円止め）

【例1】算定対象者が3者未満の事例

応札者	応札価格 (円)
A者	9,000,000
B者	9,300,000

⇒

項目	算定式	価格(円)
最低制限価格	「予定価格（税抜）×89.5%」を採用	8,950,000
入札結果	落札者	A者
	落札金額	9,000,000

【例2】算定対象者が3者以上で、算定価格が最低制限価格の上限未満になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一判定	第二判定
A者	8,900,000	失格	
B者	9,000,000	①	
C者	9,100,000	②	
D者	9,300,000	③	落札
E者	9,400,000	④	
F者	9,900,000	⑤	失格
G者	11,000,000	失格	

⇒

項目	算定式	価格(円)
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤) ÷ 5 (小数第1位を四捨五入、整数止め)	9,340,000
標準偏差	n=5、x=応札価格 Excel関数(STDEV.P)を利用 STDEV.P(①,②,③,④,⑤) (小数第1位を四捨五入、整数止め)	313,688
採用範囲(上限)	平均値+標準偏差×1.5	9,810,532
採用範囲(下限)	平均値-標準偏差×1.5	8,869,468
算定価格	算定対象者の平均値 (①+②+③+④) ÷ 4	9,200,000
最低制限価格(上限)	予定価格(税抜)×94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限未満	9,200,000
入札結果	落札者	D者
	落札金額	9,300,000

【例3】算定対象者が3者以上で、算定価格が最低制限価格の上限以上になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一判定	第二判定
A者	8,950,000	①	失格
B者	9,200,000	②	
C者	9,300,000	③	
D者	9,400,000	④	
E者	9,500,000	⑤	落札
F者	9,850,000	⑥	
G者	9,900,000	⑦	

⇒

項目	算定式	価格(円)
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 7 (小数第1位を四捨五入、整数止め)	9,442,857
標準偏差	n=7、x=応札価格 Excel関数(STDEV.P)を利用 STDEV.P(①,②,③,④,⑤,⑥,⑦) (小数第1位を四捨五入、整数止め)	316,711
採用範囲(上限)	平均値+標準偏差×1.5	9,917,924
採用範囲(下限)	平均値-標準偏差×1.5	8,967,791
算定価格	算定対象者の平均値 (②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 6	9,525,000
最低制限価格(上限)	予定価格(税抜)×94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限以上	9,450,000
入札結果	落札者	E者
	落札金額	9,500,000